



(上)4月に行われた女子中フエアの様子。6月のフエアでもこのように各校のブースが設けられ、詳しく説明を受けることができます。
(左)4月のフエアで講演を行った作家・教育コンサルタントの中井俊巳氏。23年の教師生活のなか、執筆活動に著書に「元気が出る魔法の口ぐせ」(PHP文庫)、「女子別学」(学研新書)など多数。

中高一貫校のメリット 男女別学のメリット

高校受験に追われることなく、中高6年間を一貫教育で行う学校が、私立はもちろん公立でも登場し、人気を博しています。これは、子どもたちが様々な経験をjして、大きく成長する中学・高校時代に、自分の将来を見据えた考えや学力を身につけ、また友人関係においても6年間に渡って、しっかりと絆を深めてゆけることができるからです。とくに私立には、男子校、女子校といった「男女別学」の学校がたくさんあります。共学化が進む時代ではありますが、この「男女別学」にも様々なメリットがあるとされています。この4月に行われた、大阪府下の私立女子校17校が一堂に会し



男女別学という選択肢



中学、高校という多感な時期を過ごす学校選びは、お子さんの将来を決める大切なこと。たとえば、私立の中高には、女子校や男子校など、「男女別学」の学校が数多くあります。共学には共学のメリットがあるように、「男女別学」にも様々なメリットがあります。これらを知ることでわが子の進路選択の幅を広げてみてはいかがでしょうか？(取材文、シテイライフ編集部)

た「大阪私立女子中学校フエア(4月21日・シエラトン都ホテル)」でも、作家で教育コンサルタントの中井俊巳氏が「なぜ、男女別学は子どもを伸ばすのか」という内容で講演を行い、たくさんの保護者の方が熱心に耳を傾けていらつやいました。

男子と女子は違う— それぞれに合わせた 教育ができる「別学」

講演内容としては、まず最初に「そもそも男子と女子は違う」というお話から。まず、見え方の違いから言うと、男子は動くものを察知する能力が高く、女子は色の違いに敏感だということ。記憶の仕方では、男子が図形や図式で覚えるのに対して、女子は聴覚が鋭く、音域(話している言葉)で覚えているそう。また、感

情の処理の違いでは、男子は黙ったまま心の中で処理するが、女子は言語にして(おしゃべりなどをして)発散する傾向があるe t c. . .。これは読者の方も「確かに...」と思いつたふしがあると思います。

このほかにも「男女別学」には異性の目を気にしないで、のびのびと過ごせる環境があるということ、失敗を気にしないで質問や発表ができる、といったメリットが語られました。

編集部がとくに「なるほど」と思った点は、**男女ともに主役になれる**ということ。男子校では、苦手を掃除などを女子任せにできない、女子校では、リーダーシップがとれるといったこと

が挙げられました。例えば体育祭の準備などの力仕事も女子校ならば、男子の助けを借りることはできませんから、自ずと自分たちで解決していかなければなりません。そういったことで、男女ともに幅広く能力を開発できる**可能性があると**中井氏は語ります。

学校独自の教育理念で 教養だけではなく 品格のある女性に

また私立女子校のほとんどが「女性としての生き方」についてはきりとした理念を持っています。相手を尊重する心や正しい言葉づかい、あいさつ、互いの個性を認め合う気持ちなどが、自然と育まれてい

ます。それは、学校を巣立った後も、周囲の人々と円満な関係を築き、社会に貢献できる人となるよう育まれていきます。

ほかにも2011年出身校別東大合格者数のトップ10校のうち9校が別学であることなど、学力面での効果の高さでも実績があることがわかっています。

この6月にも大阪本町の御堂会館で「大阪女子中学校フエア」が行われます。今回はそれぞれの学校の雰囲気やわかる、生徒たちのパフォーマンスが行われるそう。ぜひ、お子さんといっしょに足を運んでみてください。

参加無料

大阪私立 女子中学校フエア2011

6.19 sun

日時:6月19日(日) 11時~16時
対象:小学生及び保護者の皆様
会場:御堂会館 大阪市中央区久太郎町4-1-11 御堂会館
TEL:06-6251-5820(代)

各校の個別相談
女子校のことをもっとよく知りたいたい。その学校の特徴なども聞いてみたい。いじりなことも、現場の先生が詳しく相談に応じます。さまざまな学校の個別相談に参加しよう。まっとうな女子校の良さがわかるはず。

生能たちによるパフォーマンス
各学校の生徒たちが披露します。生徒たちの若さあふれるパフォーマンスを通して、各学校の雰囲気や校風を感じてください。11時~16時各校約10分。内容:ハンドベル演奏、ハンドソング、英語パフォーマンス、創作ダンス、吹奏楽部演奏、合唱など。

参加校:大阪薫英女学院・大阪信愛女学院・大谷・金蘭会・朝日ベテラン・四天王寺・樟葉・嵯峨野女学院・聖母・被昇天学院・相愛・帝塚山学院・梅花・羽衣学院・ブール学院

取材協力:私立中高進学通信 関西版
進学通信No.42の特集は「10年後の就活力」。多感な中学・高校の時期をどう過ごすかは、その先の将来に大きな影響を及ぼします。子どもが中学生・高校生になる時期に身につけておきたい力を一緒に考えてみましょう。

進学通信No.42発売中

関西の私立学校ナビゲーションサイト <http://www.shigaku.net> tel:06-6352-8553